

# CDS-plus版とLite版の機能比較 (2010年3月現在)

		CDS plus ver 5.0	CDS Lite ver 5.0
1. PC環境		USBポートのあるデスクトップおよびノートパソコンに接続可能	
2. OS		Windows XP、Windows 2000、Windows Vista、Windows 7	
3. 入力チャンネル数		2CH 1台のパソコンに最大4台のユニット増設可能	
4. 最大測定数		8測定 8つのクロマト装置に接続してそれぞれ非同期で測定可能	
5. ライセンス		パソコン4台にインストール可 (うち3台は解析用)	パソコン1台にインストール可
6. 主な機能と内容			
モニター機能	波形(電圧)・測定状況の表示	●	●
クロマト測定機能	入力±1.25V、ADC分解能:24bit サブサンプリング 10ms ファイル名の自動ナンバリングで連続測定可能	●	●
クロマト解析機能	波形解析、波形の手動修正 計算値表示、検体情報の編集	●	●
検量線作成機能	検量線作成、定量計算法、 同定法、検量線の種類の設定	●	●
レポート機能	レポートの印刷・自由フォーマットの作成	●	●
簡単エクセル機能	エクセルへ画面の波形画像、計算値、 検体情報を書き出す機能	●	●
複数データ一括出力	複数データをまとめて計算値・波形(電圧 値)などをCSV形式へ出力	●	●
標本クロマト機能	測定画面で測定済み波形を 参照しながら測定可能	●	●
ヘルプ機能	状況依存型ヘルプ(F1)	●	●
ログ機能	プログラムの状態・エラーメッセージを収集	●	●
インジェクション テーブル	連続測定のための便利な 情報入力テーブル	●	オプション添付 可
AIA データ交換	AIA形式データのインポートエクスポート	●	オプション添付 可
濃度集計リスト機能	検量線を使って濃度計算した 一連の濃度データを表形式でリストします	●	オプション添付 可
トレンドグラフ機能	各成分ごとのトレンドグラフを 表示します	●	オプション添付 可
ネットワーク機能	サーバークライアント方式でネットワークで 測定データを共有	●	オプション添付 可
DB機能	測定後のクロマトグラムをデータベース に登録して管理	●	オプション添付 可
GPC処理機能	GPC解析プログラム	オプション添付 可	オプション添付 可
タイマーリレー機能	増設リレーユニットで、最大16接点のタイ マーコントロール可能	オプション添付 可	オプション添付 可
テキストコンバーター 機能	他機のテキスト形式の電圧データをCDSへ インポートする機能	オプション添付 可	オプション添付 可
自動アスキーファイル 書出機能	CSV形式で測定結果(RT、濃度、面積、高 さ)などを測定時に自動で出力	オプション添付 可	オプション添付 可

# CDS-plus / CDS-Lite ver5.0の仕様

1. PC環境・OS	USBポートのあるデスクトップ及びノートパソコンに接続可能 通信：USB2.0準拠(外部電源不要。USBハブ使用の場合は外部電源要) CPU：各OSの必要要件に準ずる メモリ 128MB以上推奨 ハードディスク100MB以上の空領域推奨 対応OS： Windows 2000、Windows XP、Windows Vista(32bit)、Windows 7(32bit) 言語： 日本語版と英語版あり
2. 入力	入力チャンネル数： 2ch 最大8システム(8測定)が接続可能 入力電圧：±1.25V ADC分解能：24bit サブサンプリング間隔：10ms 通信 USB2.0準拠(外部電源不要。ただしUSBハブを使う場合はハブに外部電源が必要です) 検出器等の0~1Vのインテグレート出力端子、又はレコーダ端子1mV,10mV,100mVに接続して使用 オートサンプラー等のスタート信号での測定開始が可能、ファイル名自動ナンバリング機能
3. 波形処理	波形解析パラメーターによる自動ピークサーチ、処理可能ピーク数500以上 タイムプログラムを使用した複雑な波形(ショルダー・マイナスピーク等)に対する反応 マウスによる波形処理の会話的修正、差クロマトによるベースライン修正、ベースライン引き算機能あり
4. 同定	同定処理ピーク数500以上 絶対保持時間および相対保持時間による同定 グルーピング、個々のピーク毎に同定モードの指定が可能
5. 定量計算法	単純百分率法(面積、高さそれぞれ可)、修正百分率法、絶対検量線法、内部標準法、指数計算法 Rt、濃度、面積、高さ、NTP、ピーク幅、分離度、対称度等の主要計算項目を自動計算 簡単な計算式の設定も可能
6. 検量線	32ポイントまでの直線、曲線、折れ線による検量線を最小2乗法で計算 決定係数により検量線の妥当性を簡単に評価できる、原点の処理を設定可能 検量線をグラフィック表示可能、重み付き検量線作成可能
7. 波形データ	独自に開発されたDFMフォーマットデータファイルにより波形情報、成分情報メモ、 利用者定義可能な付加情報を統一的に管理可能 データ処理に関する諸条件を独自のメソッドファイルへ格納。 条件に応じて分析メソッドを選択可能、波形データの名称に長いファイル名が使用可能
8. 報告書作成機能	A4、B4、10インチ連続用紙等が使用可能、マウスで印刷フォーマットを任意に変更可能 波形データを複数(最大4つまで)同時に印刷でき、記録紙の節約が可能
9. エクセル・CSV出力機能	簡単エクセルボタンによりEXCELとのデータ交換が可能 CSV形式(テキスト形式)で解析結果、波形情報、波形電圧値を出力可能 複数データをまとめて書き出し可能 クリップボードコピー機能で、波形、計算結果等をペースト可能
10. 標本クロマト機能	測定時にすでに測定した標準的なクロマト波形を標本クロマトとして 重ねて表示可能
11. ヘルプ・ログ機能	HTMLヘルプを採用。状況依存型ヘルプで、F1キーで説明を参照可能。 検索機能により、調べたいキーワード等で検索可能 プログラムの状態、エラーメッセージ等のログを収集し、異常終了などの不測の状態をサポート
12. インジェクション テーブル機能	連続測定のための情報入力テーブル機能 検体数の多い測定時などにサンプル名等の情報を連続入力可能
13. データ交換	AIA (ANDI)フォーマット変換機能 DDE (Dynamic Data Exchange)による動的データ交換機能をサポート
14. 集計リスト機能 トレンドグラフ機能	濃度計算した一連のデータを集計リストして時系列に表示 トレンドグラフ表示により特定の成分の濃度の変化をビジュアルに監視可能
15. ネットワーク機能	サーバー、クライアント機能で波形データの共有が可能 クライアントから、サーバーのモニター画面をリモートで監視可能
16. DB機能	測定後のクロマトグラムをデータベースに登録して管理可能(MDB形式)
17. タイマーリレー機能	増設リレーユニット(オプション)により、最大16接点のタイマーコントロール可能
18. GPC機能	GPC解析プログラムをオプションで添付可能
19. テキストコンバーター機能	他機からテキスト形式で出力された電圧などのデータをCDSへインポートする機能
20. 自動アスキーファイル書出	測定終了時に、自動的に計算結果(RT、濃度、面積、高さ)等をCSV形式orRS232cへ出力
21. ライセンス	ソフトウェアにはハードウェアADC44の2ch分の使用権(ライセンス)が含まれております。 CDS-plus: パソコン4台にインストール可能(うち3台は解析用) CDS-Lite: パソコン1台にインストール可能

CDS-plus / CDS-Lite 標準機能
  CDS-plus標準機能
  オプション機能

※ USBクロマトインターフェイスユニットは1つのパソコンに4台まで、PCIクロマトインターフェイスは2台まで設置可能です。

※ Lite版にもPlus版機能をオプションとして添付可能です。お気軽にご相談ください。

※ Windows 2000/NT/XP/Vista/7、Microsoft WORD、EXCEL、Power point、ACCESSは米国マイクロソフト社の商標です。